

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 36

請求番号	A0384A0G	文書番号	1979	年代	昭和 24 年
史料名	宣伝印刷物関係綴 ※別保管図面 (ポスター)				
形態	ポスター	複製	あり ・ なし (原本)		
備考	簿冊に綴じることができず、別の図面入れで保管されているポスター29枚の中の7点である。これらは、大蔵省通貨安定対策本部から送付された展示用ポスターである。				
史料概要	7枚1組となっており、日本の経済を独り立ちさせるためにすべきことが7枚を通して描かれている。終戦から4年、アメリカからの輸入食料に頼っていたところから始まり、インフレの根絶と生産拡大、外資の獲得、工場での輸出品の生産、貯金と資本拡大、経済安定九原則を元にした協力体制ときて、最後に日本が独り立ちをする構成になっている。この7枚のストーリーを追うことで、日本の戦後復興へ向けた当時の考え方が読み取れる。				
指導要領 (内容) との関連	<中 2> 歴史的分野 C-(2)-ア-(ア) <高日探> D-(3)-ア(エ) 戦後の経済復興				
活 用 例					
活用単元	「戦後日本の出発」「平和国家を目指して」 等				
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・終戦後、民主的な国家として歩み出していることを理解する学習の中で、経済的な視点からの復興を考える場面で活用。 				
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータを児童用タブレットに表示するなどして提示する。経済的な視点からの復興方法を考えさせる資料として7枚のポスターをストーリーとして見た後に、疑問点を吟味していく方法が考えられる。また、6枚目だけを見せて、絵から分かることを考えさせ、経済安定に向けた取組をまとめるといった方法も考えられる。 				
予想される生徒児童の反応など	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定や農地改革、財閥解体など民主化に向けた政策が占領軍の指導の下行われていく中で、日本の経済復興も同時に進められていて、自分たちで再建しなければならないという機運を盛り上げていたことに気づくであろう。また、当時の中心産業が農林水産業であり、ポスターから農林業を活用して外貨を獲得して日本を豊かにするという視点に気づかせてもよい。なお、ポスターの中に「インフレ」「ヤミ会社」「経済安定9原則」など、生徒が知らないであろう言葉が出てくるので、解説が必要である。 				

